

平成30年9月13日

平成30年度 第1回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校
校長 澤登 一浩

〔会議日時〕 平成30年9月11日（火）19:00～20:30

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕・学校関係者評価委員5名

名取 武茂 さん（上村区自治会長	・学校評議員）
北村 敏 さん（スクールガードリーダー	・学校評議員）
松田 結香 さん（主任児童委員	・学校評議員）
名取 元希 さん（PTA会長	・学校評議員）
佐久間ひとみ さん（PTA副会長	・学校評議員）

・学校側3名

澤登 一浩（校長）・望月 政幸（教頭）・内藤 大輔（主幹教諭）

1 学校からの説明事項

【学校生活について】

○児童の抱える困難さや不安に寄り添い（Q U検査等を使いながら）、より良い人間関係が構築できるように、安心できる学校を目指して職員一丸となって取り組む。スクールカウンセラーも活用しながら、個に寄り添った丁寧な相談を心がける。

【学習について】

- 中巨摩の食育推進校の指定を受け、食育と教科の関連、食生活の改善に取り組む。1学期：食育講演会（小中連携事業）、2学期：食育を扱った道徳公開、3学期：食育の公開研究会。
- 新学習指導要領の施行に向けて、「思考力・判断力・表現力」を高める授業づくりを行う。教師や友だちの話を「聴く」ことを大切に、授業中の発言を増やす。校内研究と合わせ、学級・学年・ブロックで連携した系統的な取組を進める。安心して発表できる学級の雰囲気をつくることは、お互いを認め合うことにもつながり、いじめのない学級づくりにも通じている。食育も含めながら「学び合い」を大切にしたい校内研究のテーマをこれからも継続していく。合わせてユニバーサルデザインの授業づくりにも取り組む。
- 学習内容の定着や学力の向上において、家庭学習は大事な働きをしている。現状では、家庭学習の状況には個人差が大きい。県から出ている家庭学習のパンフレット（学びの甲斐善8ヶ条）等利用したり、家庭学習推進期間の設定回数や内容を見直したりして、家庭学習を保護者の理解と協力のもとに連携していく。

【生徒指導について】

- 学級づくりを大切に、「学び合い」の授業づくりとともに、あたたかい人間関係の構築に努める。いじめや非行行動に対する未然防止や早期発見について、多くの目で確認できるような組織の充実も必要である。学校は、いじめほどの学校でも起こりうることを前提にしながら、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導にあたる。
- 防犯やあいさつを目的とした「わかかき見守り隊」を自治会に協力を要請し、PTA活動でも取り組みながら、その成果が出てきている。今後も継続していく。児童会・PTA・地域の方々とも協力し合いながら、あいさつ運動・見守り活動を工夫し今後も推進していく。

【施設・設備について】

○校舎が48年経ち、老朽化も進んでいる。床、窓、トイレ、プール等夏休みまでにクリーニングを終えた。また保健室にはシャワー室ができた。トイレ、暑さ対策等、まだまだ修繕の必要な個所多い。長期的に対応を考えるもの、緊急性があるもの等、予算と相談しながら（要求しながら）これからも、児童が安全・安心して学校生活を送れる施設・設備を整えたい。

2 意見交換

(1) あいさつについて

- ・秋の交通安全週間でJAの方が立ってくれている。子どものために立ってくれていることを伝え、きちんとあいさつさせたい。
- ・登校班で横断の見守りを行っているが、あいさつする班としない班がある。班長が明るく大きな声でする班は、あいさつをする。加賀美の薬局の前のボランティアさんにはよくあいさつができています。

(2) ラジオ体操について

- ・中学生が前に立ち、見本をみせながら、ラジオ体操をするのは若草の伝統。学年ごとに並ばせるのも上級生。子ども主体で活動が出来ている。上村の夏祭りも上級生ががんばっている。

(3) 安全について

- ・台風のため、時間が遅れて登校の時があったが、通学路の近くで、看板がとんで、車3台にあたるということが起きた。台風のときは、子どもだけの登校、下校は心配。
- ・鏡中條の通学路にはブロック塀が多く危険。たちばな保育園のブロックの危険な場所にはパイロンが置いてある。危ない塀を壊した家もある。
- ・学校の東側の道、横断歩道が薄い。濃く書いていただければ。安協をお願いします。
- ・登校時、東駐車場に入る送迎の車が多くて、危険。
- ・ZONE30他の検討をしたらどうか。
- ・鏡中條の村中の道はブロック塀が危険。長遠寺の前の道は車の交通量が多くて危険。
- ・見守りたすきを広めているが、夕方の放送を児童の下校時間に合わせられないか。夕方の放送がかかったら、たすきをつけて見守りを開始することはできないか。
- ・駐在さんが忙しくて児童の登下校時に不在のことが多い。何とか安全を見守ってほしい。
- ・加賀美の方は、ボランティアさんがいるが、鏡中條や下今井の方はボランティアさんが少ない。祖父母の世代で、組織的に安全を見守る体制づくりができないか。

(4) 要望・感想

- ・先生たちが遅くまで働いている。仕事量を減らしていただければ。
- ・台風や気温が高かったとき、集団下校に先生がついていってくれてありがたかった。これからも安全指導をお願いしたい。
- ・家に帰ってから、やりたいと思える宿題を出すことも大切。家庭と学校で一緒になって子どもを育てたい。
- ・係や当番などしっかりできる子どもを育てたい。愛校心を育てることは地域を愛する第一歩。
- ・目立つ子ばかりでなく、静かな子、目立たない子にも進んで教師から声かけをしてほしい。

※アンケート調査の結果・考察、意見交換を生かし、今後の教育活動の改善・推進を図っていく。その上で、後期の学校評価を行い、その成果を検証していく。